

富山新聞創刊 100 年記念

「前衛」写真の精神： なんでもないものの変容

瀧口修造・阿部展也・大辻清司・牛腸茂雄

2023年 6/3(土) ~ 7/17(月) 祝

The Spirit of
Avant-Garde
Photography:
Transforming "Nothing Much"
-TAKIGUCHI Shuzo,
ABE Nobuya,
OTSUJI Kiyoji,
GOCHO Shigeo



牛腸茂雄 (SELF AND OTHERS) 1977年 新潟県立近代美術館・万代島美術館蔵 前期のみ展示

前期：6月27日(火)まで 後期：6月29日(木)から 前期・後期で展示替えがあります。9:30～18:00(入館は17:30まで) 休館日=毎週水曜日

【主催】富山県美術館、富山新聞社、北國新聞社、チューリップテレビ 【特別協力】武蔵野美術大学 美術館・図書館 【企画協力】株式会社アートインプレッション 【協賛】塩谷建設、トヨタモビリティ富山(五十音順)

The Spirit of Avant-Garde Photography: Transforming "Nothing Much"—TAKIGUCHI Shuzo, ABE Nobuya, OTSUJI Kiyoji, GOCHO Shigeo
June 3–July 17, 2023 Opening Hours: 9:30 AM–6:00 PM (Last admission is 5:30 PM) Exhibition Closed: Every Wednesday

富山県美術館 〒930-0806 富山市木場町3-20 Tel 076-431-2711 Toyama Prefectural Museum of Art and Design: 3-20 Kiba-machi, Toyama City, Toyama, 930-0806 Tel +81 76 431 2711



富山県美術館
アート&デザイン

富山新聞創刊100年記念

「前衛」写真の精神：なんでもないものの変容 —瀧口修造・阿部展也・大辻清司・牛腸茂雄

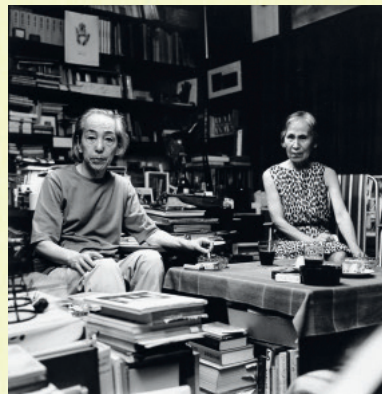
日本の写真史において前衛写真は、シュルレアリスムと抽象主義の影響を受けて1930年代に台頭しました。1938年には「前衛写真協会」が結成され、その中心人物の瀧口修造は、写真の本質である記録性を重視し、技巧に走りつあった当時の傾向に警鐘を鳴らし、超現実主義は「日常現実のふかい襷のかげに秘んでいる美を見出すこと」であると主張しました。一緒に協会を立ち上げた阿部展也は、瀧口に共鳴し、オブジェや風景の写真を発表しました。2人の影響を強く受けた大辻清司は、「なんでもない写真」と題したシリーズを手掛けます。大辻の愛弟子の牛腸茂雄は、技巧に凝らず日常を誇張なしに撮影した「コンボラ写真」の代表的な一人として注目されました。本展は、1930年代の前衛写真から1980年代への展開のなかに連続と流れてきた瀧口の思想の様相を、4人の作品や資料を中心に、ウジェーヌ・アジェ、マン・レイなど関連作家の作品を加えて紹介します。

The Spirit of
Avant-Garde
Photography:
Transforming "Nothing Much"
—TAKUICHI Shuzo,
ABE Nobuyuki,
OTSUJI Kiyoshi,
GUCHI Mutsuo

③



④

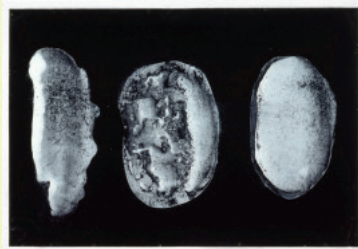


⑤



①

① 瀧口修造《私の心臓は時を刻む》より
1962年 当館蔵



②

② 雑誌『フォトタイムス』15巻5号表紙
(写真：阿部芳文(展也)撮影)
1938年



③

③ 大辻清司《無言歌》
1956年 千葉市美術館蔵(後期のみ展示)

④

④ 大辻清司《瀧口修造夫妻、書齋にて》
1975年(2003年プリント) 当館蔵

⑤

⑤ 牛腸茂雄《幼年の「時間」1》
1980年頃 新潟市美術館蔵(前期のみ展示)

②



会 期 2023年6月3日(土)～7月17日(月・祝)
前期:6月27日(火)まで、後期:6月29日(木)から
* 前期・後期で展示替えがあります。
* 都合により出品作品、出品期間が変更になる場合があります。
開館時間 9:30～18:00(入館は17:30まで)
休 館 日 毎週水曜日
会 場 富山県美術館 展示室2、3、4

観覧料 Fee for special exhibition

一般 Adults	¥ 900(700)
大学生 College students	¥ 450(350)
高校生以下 High school students or younger	無料 Free
一般前売り Advance tickets	¥ 700

※ ()内は20名以上の団体料金 ()=Fee for group tickets
※ 企画展入場当日に限りコレクション展もご覧いただけます。
※ 各種手帳をお持ちの障がい者の方および付添者1名の観覧は無料
※ 学校観覧、社会教育活動としての児童・生徒の引率者は無料
※ 「リピーター割」、「クマ割」などの各種割引、オンラインチケット販売を実施中。詳細については、ホームページをご覧ください。



前売り券販売所(2023年6月2日まで販売)
富山県美術館、富山県水墨美術館、アーツナビ、e-tix



Access

- 富山駅北口から 徒歩 約15分/タクシー 約3分/バス 1番のりばより乗車「富山県美術館」下車すぐ
- 富山空港から…タクシー・車 約20分(約9km)
- 北陸自動車道から…富山I.C.から国道41号経由 約15分
- ※ 美術館の駐車場(8:00-22:30)は限りがあり、土日祝は混雑が予想されます。お越しの際はなるべく公共交通機関をご利用ください。満車の際は、環水公園立体駐車場など周辺駐車場をご利用ください。

富山県美術館 Toyama Prefectural Museum of Art and Design
〒930-0806 富山市木場町3-20 3-20 Kiba-machi, Toyama City, Toyama, 930-0806, Japan
tel.076-431-2711 fax.076-431-2712 https://tad-toyama.jp/

ご来館されるみなさまへ
○ ご来館の際は、当館ホームページの「入館時のお願い」をご確認ください。
○ 記載内容は都合により変更する場合があります。
当館ホームページ、SNS等をご確認のうえ、ご来館されることをお勧めいたします。
会期中のイベント
会期中のイベントの詳細は、当館ホームページやSNSでお知らせします。
次回企画展
「大竹伸朗展」8月5日(土)～9月18日(月・祝)